

INVESTORS GUIDE 2025

KUNIMINE INDUSTRIES CO., LTD.



資源を科学して未来のニーズを創造、 産業の発展、社会インフラ整備に貢献

当社グループは「経世済民」の企業理念のもと、1943年の創業以来、貴重な地下資源であるベントナイトの採掘・製造・販売を軸に、様々な産業分野で事業展開し、業界のリーディングカンパニーに成長してまいりました。

産業構造が急速に変化する現在において、既存事業を深化させて収益を維持・拡大させるとともに、産学官連携を通じてイノベーションを創出し、ベントナイトのより高付加価値な用途開発や社会課題の解決および持続可能な社会の実現に貢献していくことを目指してまいります。

株主・投資家の皆さま方には、今後とも一層のご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。



代表取締役社長 國峯 保彦

業績サマリー

グループ全体

●増収・営業利益増加

販売数量は減少となるが、価格改定効果や高付加価値製品への注力により売上微増・営業利益増加

ベントナイト事業

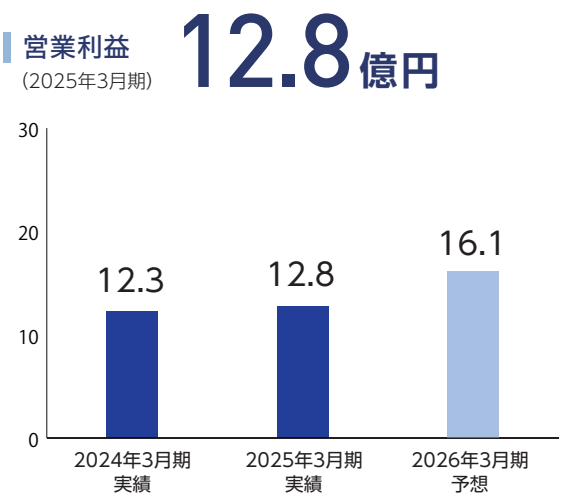
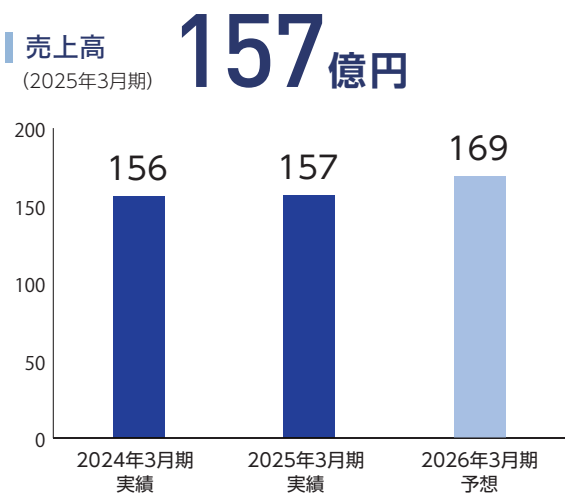
●減収減益

主要得意先の減産、一般土木工事が低調に推移

クレイサイエンス事業・アグリ事業

●増収増益

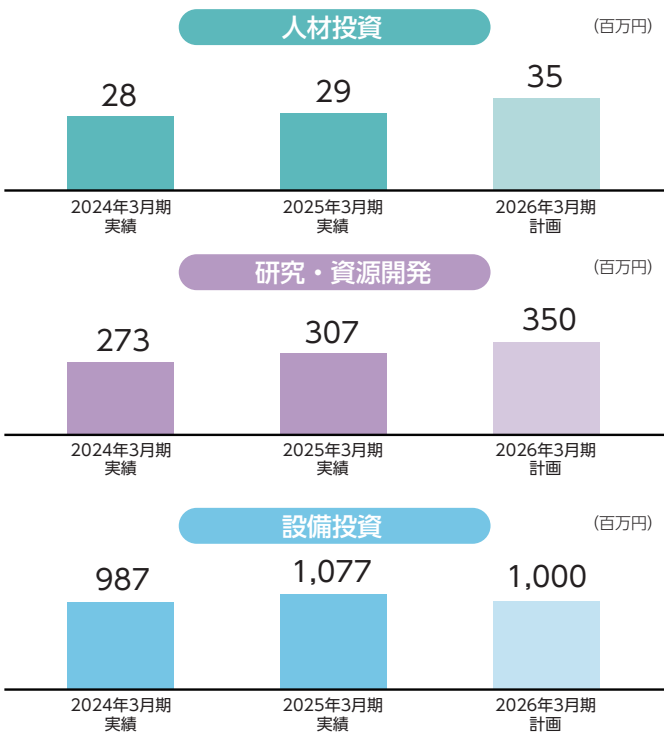
価格改定効果・アグリの新製品伸長



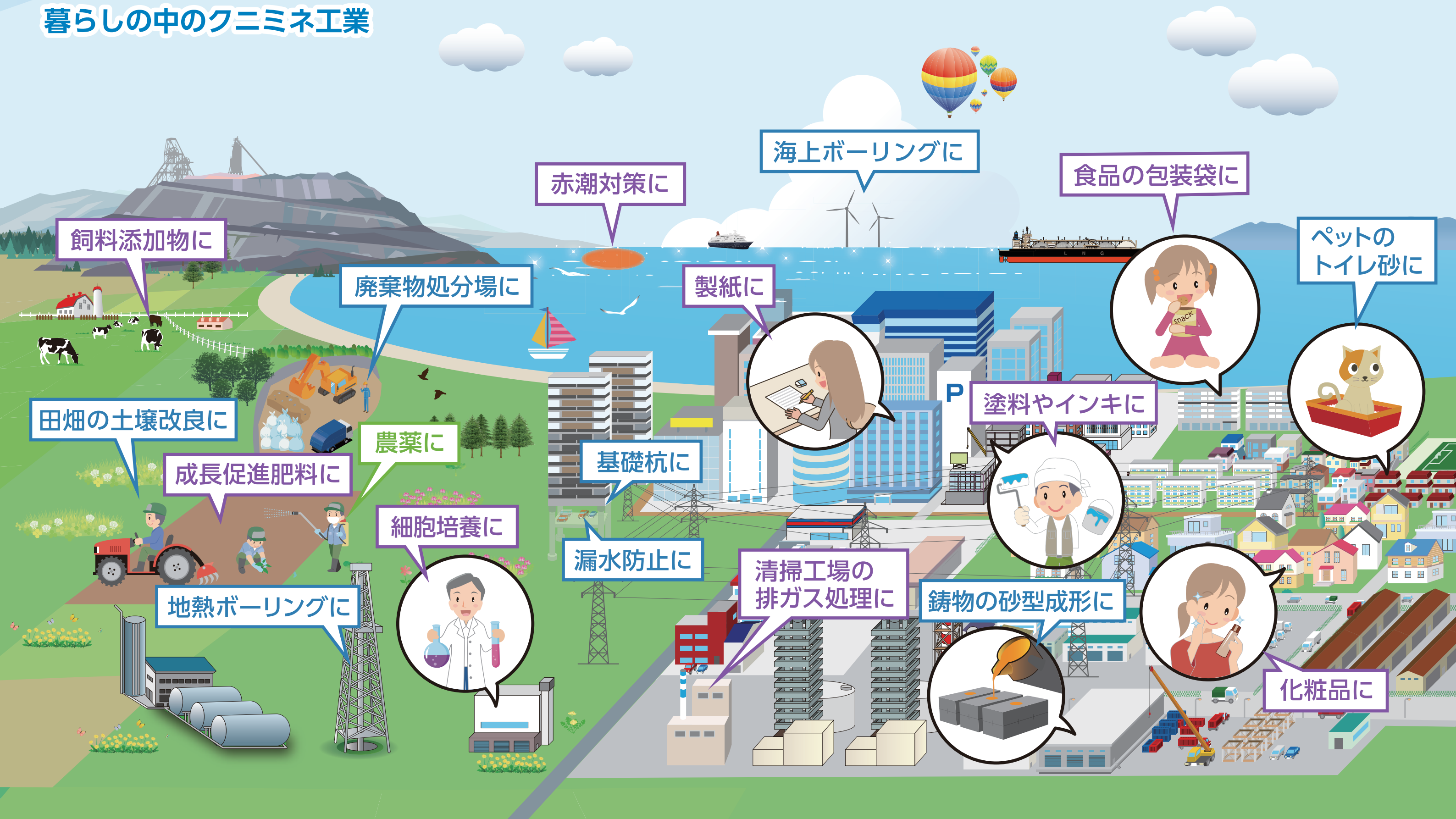
投資政策



投資計画の推移



暮らしの中のクニミネ工業



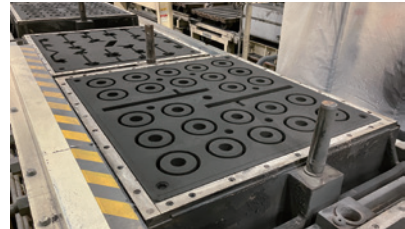
事業部門紹介

ベントナイト事業部門 売上高 11,094百万円

素形材分野 売上高 6,737百万円

自動車や産業機械、建設・農業機械など、あらゆる工業製品で使用されている鑄造部品の多くは、ベントナイトを粘結材にした砂型で鑄造する生型鑄物という製法で作られています。ベントナイトで成形した砂型に溶かした鉄を流し込み大量の部品素材を効率良く製造することができます。また、ベントナイト製品の販売だけでなく、黒磯研究所での鑄物砂分析による不良対策や歩留まり向上などもサポートし、お客さまの様々なニーズに応える当社独自のトータルエンジニアリングサービスも提供しています。そして昨今、環境対策にも力を入れており、産業廃棄物の低減・リサイクルや、鑄物工場から排出される有害な重金属類を抑制する商品の展開にも注力しています。

海外市場においても、KUNIMINE (THAILAND) CO.,LTD.を通じて東南アジアへ進出する日系企業との連携を強め、海外ユーザーへの対応と拡販に注力してまいります。



当社顧客の鑄型



当社研究所での鑄物砂分析の様子

主力商品

- クニゲルVAS ●「クニボンドM」シリーズ
- クニボンドTY ●「クニボンドTY」シリーズ
- ネオクニボンド ●クニフォース

環境建設分野 売上高 3,402百万円

ベントナイトの特徴的な性能として、水への分散時に発現する増粘性や土壌混合時に発揮する遮水性を活かして、建物の基礎となるコンクリート杭を造成するアースドリル工法や管理型廃棄物処分場での遮水工事等、幅広い工法でベントナイトが使用されています。今後は、脱炭素化で注目される地熱発電や海底資源の調査ボーリングなどでの使用拡大も期待されています。更に低レベル放射性廃棄物処理用途では、環境負荷も少なく長期安定遮水性能に優れるベントナイトのニーズが高まってきております。

引き続き、国土強靱化に向けた国内主要インフラ整備事業などへの継続的な取組みに加えて、SDGs関連の分野にも積極的に営業活動を展開してまいります。



場所打ち杭(アースドリル工法)の現場

主力商品

- クニゲルV1 ●クニゲルGT ●クニシール
- クニゲルV2 ●クニシート ●クニボンドMA
- クニキャップTG ●クニフォースPX ●クニボンドRT

ペット関連分野 売上高 954百万円

ベントナイトの持つ高い吸水性と粘結性を活かしたペット用トイレ砂製品に参入して40年近く経ちました。近年はペットに対する飼い主さまの意識も大きく変わり、もはやペットは生活を豊かにする家族の一員であるとの認識に変わってきております。そのような飼い主さまの意識変化の中、当社グループはペット用トイレ砂中心の事業から、ペットとの生活や健康など、幅広い領域でのニーズを実現するため「家族皆が幸せでいられますように！」というコンセプトを新たに設定いたしました。そんな思いから、ペット、飼い主さま共に喜んでいただける安心・安全な「天然ジビエおやつ」を発売開始しました。素材には農作物被害対策として駆除された害獣を使用し、それらの命を無駄にしないという社会的責任も、開発を始めたひとつの要因となっております。

これからも、ペットとその飼い主さまが笑顔になれるような商品やサービスを提供し続けてまいります。



天然ジビエおやつ

主力商品

- ペレットタイプ**
 - 猫砂1 番超消臭 ●猫砂1 番大粒
- 破碎タイプ**
 - 猫砂1 番 ●猫砂1 番金印
- 細粒タイプ**
 - 猫砂1 番消臭+エコ
- 天然ジビエペットフード**
 - ジャーキー ●パウチフード

クレイサイエンス事業部門 売上高 1,808百万円

当事業で取り扱う精製ベントナイト「クニピア」は、原鉱の特長と高純度精製品としての強みを活かし、セラミックス、樹脂フィルム、塗料といった工業製品や医薬・化粧品産業などの機能性材料として利用されています。

また、合成技術によってつくり出された粘土「スメクトン」、更に合成スメクトンの親水性質を親油性へと改質した有機化タイプの「スメクトン」などの高機能製品も製造販売しています。

近年は産学官連携を通じた研究開発により、粘土の機能特性を更に引き出すための技術開発に積極的に取り組んでおり、蓄電・電子デバイスや化粧品向けサンスクリーン剤への応用展開を図るとともに、水素社会実現に向けて水素ガスバリア向けの技術開発に注力しています。また、昨年販売を開始した三次元細胞培養向け研究用試薬「Kuni-Grow+」*や研磨用途向け新製品「クニシャイン」を拡販していき、当事業は将来の柱となるべく新技術、新製品の開発強化および市場開拓に一層注力してまいります。

加えて、当社ベントナイトの高い吸着性能を活かし、飼料添加物としての展開も進めています。特に、カビ毒に加えタンパク質由来の毒素にも対応可能な点が評価されており、畜産分野における予防医療ニーズへの対応や、動物用医薬品領域への応用が期待されています。更に、食品添加物、赤潮防除剤、農林水産業における成長促進肥料など、食の安全確保や水産資源の保全、生産現場の効率化といった社会的課題の解決にも寄与することを目指しています。

※第7回 日本オープンイノベーション大賞「文部科学大臣賞」を受賞(詳細はp.9を参照)



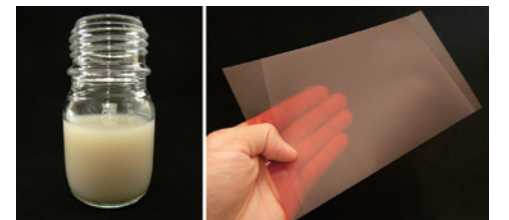
三次元細胞培養向け研究用試薬「Kuni-Grow+」



化粧品産業技術展 CITE JAPAN 2025に出展

主力商品

- 「クニピア」シリーズ ●ダブルボンド
- 「モイストナイト」シリーズ ●クニボンドMA
- 「スメクトン」シリーズ ●クニボンドRT
- 環境保全処理剤 ●早蕨(さわらび)



水素ガスバリア塗工液

PIフィルムへの塗工例

アグリ事業部門 売上高 2,804百万円

製剤技術に強みを持つ当社グループでは、農業加工において薬効成分が放出される速度や量をコントロールする技術などを活かし、国内・海外の農業メーカーなどから農業の加工を受注しています。

農業業界では消費者ニーズの多様化や商品サイクルの短期化に伴い、多品種少量化の流れが加速するとともに、殺虫・殺菌剤と除草剤のクロスコンタミネーションを防止する管理体制や薬害への対策強化が一層厳しく求められています。

当社グループでは、多品種少量生産とクロスコンタミネーション防止に対応できる体制を構築するとともに、独自の造粒技術に磨きをかけながら、受注を拡大してまいりました。

また、水稻栽培における種子コーティング技術にも注力しております。当技術の活用により、生産者の高齢化や人手不足といった社会課題の解決に貢献してまいります。

併せてITなどを活用した省人・省力化への設備投資とともに生産管理体制を強化しながら、顧客満足度の向上を目指してまいります。

※クロスコンタミネーション：製造過程で農業製品同士が混じり合うこと

主力商品・サービス

- 農業受託加工
- 農業キャリアー(基剤)
- フロアブル製剤用原料
- グレー細粒剤 ●「クニピア」シリーズ
- クニゲルV1 ●天竜 ●「スメクトン」シリーズ



自動包装設備



X線検査装置

Q 2025年3月期の業績についてお聞かせください。

A 2025年3月期の国内経済は、物価高の影響により一部に弱い動きがみられましたが、大企業や非製造業においては、社会経済活動の正常化に伴うサービス需要の回復を受けて、緩やかな回復が継続いたしました。当社グループにおきましては、主要納入先のうち、鋳物業界は、建設機械やトラック関連を中心に、需要は低調に推移いたしました。また、土木建築業界は、建築資材の高騰や人手不足等の影響により、依然として厳しい状況が続きました。

このような背景のもと、当社グループは、より一層のコストダウンへの取組みを進めるとともに、より付加価値の高い製品の提案や適切な価格改定を行うことにより、売上高および利益の確保に努めてまいりました。

以上の結果、売上高は157億7百万円(前期比0.2%増)、営業利益は12億80百万円(同4.0%増)となりましたが、前期に発生した為替差益95百万円が当期は11百万円の為替差損に転じたことが影響し、経常利益は15億83百万円(同3.7%減)となり、親会社株主に帰属する当期純利益は、主に投資有価証券売却益が1億52百万円発生したことから、10億78百万円(同3.3%増)となりました。

Q 現在の経営環境をどのように捉えておられますか。

A 現在、当社を取り巻く経営環境は、エネルギー供給と消費の両面で大きな転換期にあると捉えています。政府の新たなエネルギー基本計画において、安定的な一次エネルギーの確保が国家的な最優先課題となっており、従来

の電力に加え、地熱や洋上風力、太陽光など多様な再生可能エネルギーの導入拡大や原子力の再稼働(小型原発：SMR含む)が強く求められています。一方、需要面では、データセンターや車載電池の大型化、製造現場での省力化・省人化・自動化の加速など、新たな産業構造への変化が急速に進展しています。これらの潮流は、日本経済の成長率引上げと国際競争力の強化にも直結すると考えています。

こうした産業構造の転換期において、当社の主力であるベントナイト事業も新たな進化が求められています。鉱山資源である以上、採掘を続ければ収獲減価は避けられません。だからこそ、限られた資源の有効活用に加え、品質や性能の向上、安定供給体制の強化に不断に取り組むことで、新たな社会課題への貢献を果たしてまいります。

Q 最後に株主の皆さまへメッセージをお願いします。

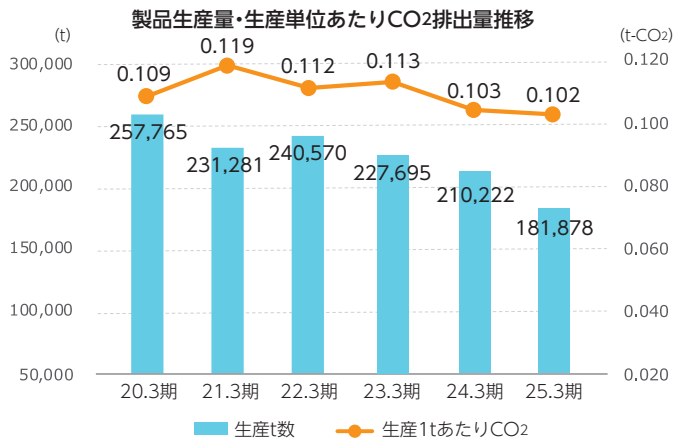
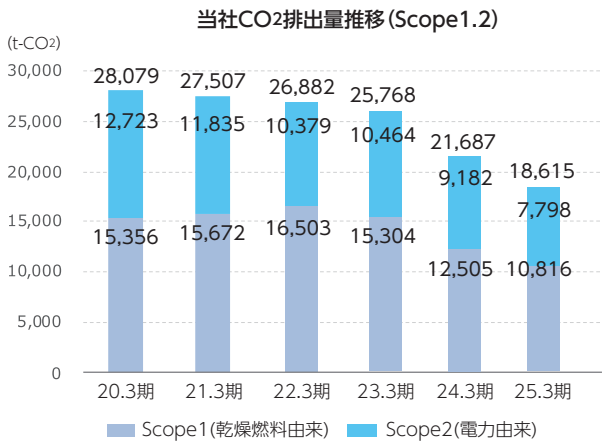
A 2025年3月期は増収増益となりました一方で、公表していた計画を下回る結果となってしまい、株主・投資家の皆さま方にはご心配とご迷惑をお掛けしたことをお詫び申し上げます。また、今年度は中期経営計画の最終年度でございますが、計画策定時からの急激な外部環境の変化を踏まえ、目標値の見直しを行いました。結果として下方修正となりましたが、前期比では全てのセグメント(ベントナイト、クレイサイエンス、アグリ)で利益成長を見込んでおります。修正目標の必達に向け、既存案件の確実な収益確保に加え、新規市場や新製品の開拓にも積極的に取り組んでまいりますので、株主・投資家の皆さま方には、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



サステナビリティへの取組み

CO2排出量の状況

当社グループCO2排出量の状況



- 25.3期の当社グループCO2排出量は、前期比▲3,072t-CO2となり大幅に削減
製品あたりの排出量も継続して減少
- 今後もカーボンニュートラルの達成に向け、CO2排出量削減を進めていく

* Scope 1：製造等での燃料使用による CO2 直接排出
* Scope 2：購入した電気の使用による CO2 間接排出
* 各数値は省エネ法に基づく定期報告値より作成

新しい取組み

日本オープンイノベーション
大賞「文部科学大臣賞」を受賞

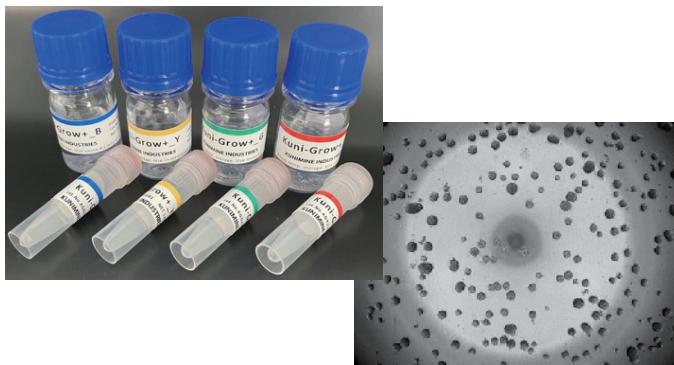


大阪大学大学院薬学研究科 辻川和文教授との「粘土鉱物を利用した新たな3次元細胞培養システム」についての共同研究の取組みが「文部科学大臣賞」を受賞しました。

当社が長年にわたり培ってきた技術ノウハウを生命科学の分野に適応し、3次元細胞培養における課題の解決に貢献する取組みに対して、アイデアの斬新さ、3次元細胞培養技術の確立・販売に至った実績が高く評価されました。

具体的な研究内容については、右側に記載しております。

3次元細胞培養向け研究用試薬



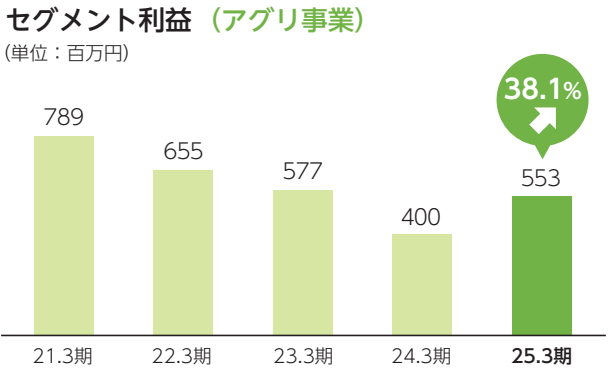
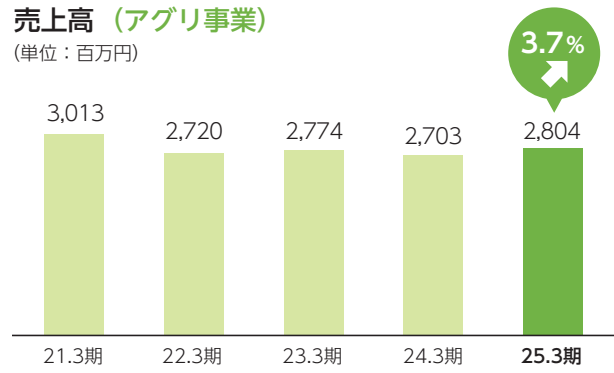
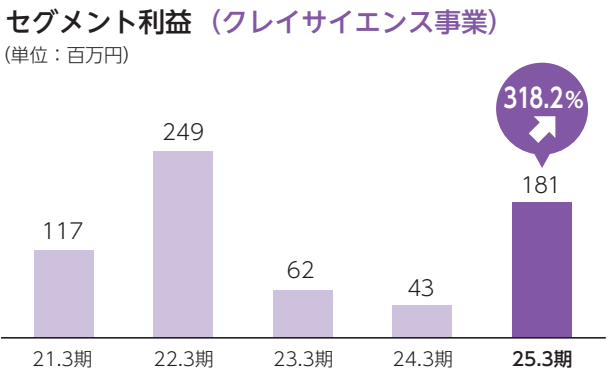
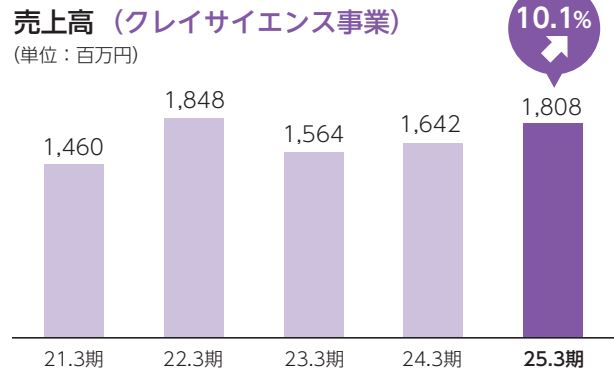
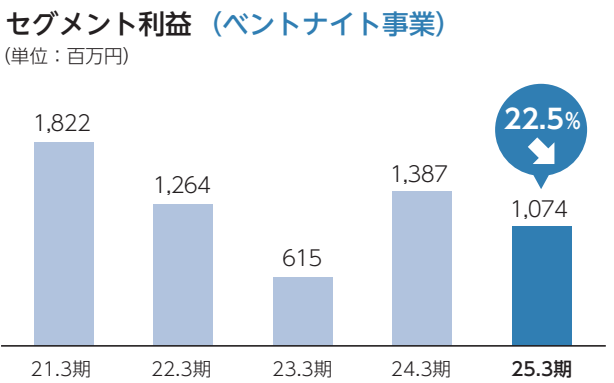
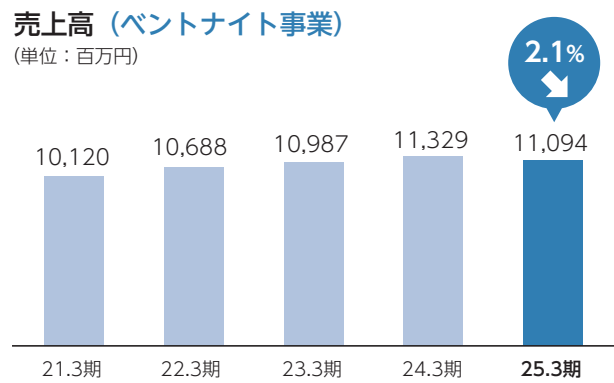
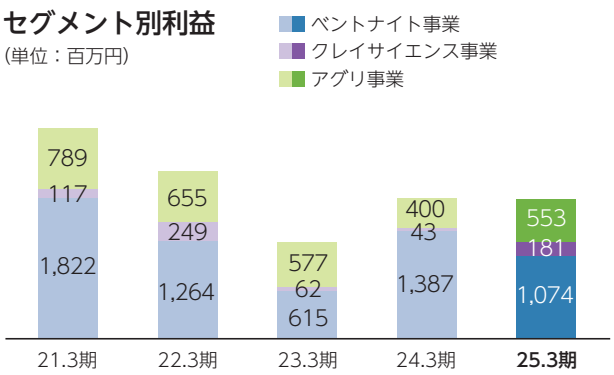
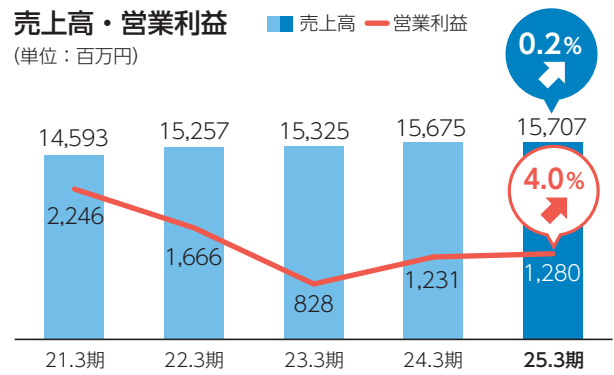
3次元細胞培養向け研究用試薬「Kuni-Grow+」を昨年5月に販売開始いたしました。

本製品は、細胞培養において3次元培養を簡便に行うための添加剤として使用します。専用の培地や培養容器は不要で、従来の2次元培養向けの基本的な培地に添加するだけで培地中の成長因子(血清タンパク質など)を吸着し、細胞に作用することでスフェロイドの形成を短期間(数日～1週間程度)で可能とする革新的な試薬です。大学機関等との共同研究において、がん細胞をはじめとした様々な細胞種でのスフェロイド形成が確認されております。

本製品の販売を契機として、創薬支援ビジネス領域で本技術の普及拡大を目指し、成長が期待される細胞培養分野での事業拡大を図ってまいります。

財務ハイライト(連結)

※ 2024年10月1日付で事業セグメントを見直しましたため、以下の情報は新たな事業セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。



- 1

本社

〒101-0032
東京都千代田区岩本町一丁目10番5号
(T.M.M.ビル3F)
電話 03-3866-7251 (代表)
- 2

名古屋支店

〒450-0002
愛知県名古屋市中村区名駅四丁目3番10号
(東海ビル5F)
電話 052-587-5232

- 3

大阪支店

〒532-0003
大阪府大阪市淀川区宮原四丁目4番64号
(新大阪千代田ビル2F)
電話 06-6392-4581

- 4

黒磯研究所

〒325-0013
栃木県那須塩原市鍋掛1085番地454
電話 0287-64-1981

- 5

いわき工場・研究所

〒972-8312
福島県いわき市常磐下船尾町杭出作23番5号
(常磐鹿島工業団地内)
電話 0246-44-7100

- 6

左沢工場

あてらざわ
〒990-1101
山形県西村山郡大江町
大字左沢782番地
電話 0237-62-2255

- 7

蔵王工場

〒989-0916
宮城県刈田郡蔵王町
遠刈田温泉字下田6番地
電話 0224-34-2011

- 8

御津工場

みと
〒441-0314
愛知県豊川市御津町
御幸浜一ノ地1番17
(御幸浜企業団地内)
電話 0533-76-3107

- 9

太田工場

〒313-0008
茨城県常陸太田市増井町
字上台166番地
電話 0294-72-2251

- 11

郡山工場

〒963-0531
福島県郡山市日和田町
高倉字榎田2番地1
(郡山北部工業団地内)
電話 024-983-9201

- 10

小名浜工場

〒971-8184
福島県いわき市泉町
黒須野字江越246番7号
(小名浜臨海工業団地内)
電話 0246-56-5890

グループ会社

- 12

クニマイン株式会社 (株式100%保有)

ベントナイト原鉱石の採掘、販売
〒990-1271 山形県西村山郡大江町大字月布722番地9号
電話 0237-64-2121

- 13

川崎鉱業株式会社 (株式100%保有)

ベントナイト原鉱石の採掘、販売
〒989-1502 宮城県柴田郡川崎町大字今宿字上ノ台6番地1号
電話 0224-84-4661

- 14

関ベン鉱業株式会社 (株式100%保有)

ベントナイトの採掘、製造および販売
〒959-4622 新潟県東蒲原郡阿賀町白崎1573番地
電話 0254-99-2028

- 15

クニミネマーケティング株式会社 (株式100%保有)

ペット用品の販売など ※2025年7月1日付で、ペット用品の販売事業をクニミネ工業株式会社へ譲渡いたします
〒279-0001 千葉県浦安市当代島一丁目1番25号 (板徳ビル3F) 電話 047-711-1761

KUNIMINE (THAILAND) CO.,LTD. (株式49%保有)
ベントナイト製品の販売、ベントナイト用途周辺関連商材の販売など
2 Jasmine City Building, 12th floor, Soi Sukhumvit23 (Prasarnmitr),
Klongtoey-Nua,Wattana, Bangkok 10110, Thailand
電話 +66-2-612-7302

TRANS WORLD PROSPECT CORPORATION (株式71.43%保有)
米国ベントナイト採掘会社への出資
505 Con Roy Building 141 South Center Street Casper, Wy 82601 U.S.A

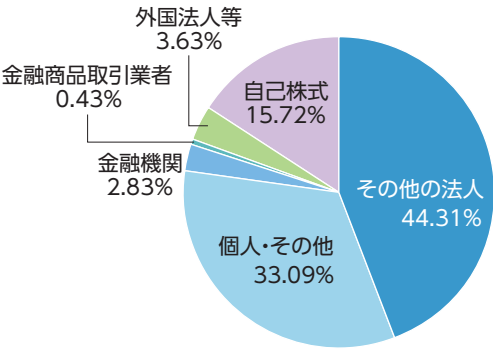
株式の状況 (2025年3月31日現在)

発行可能株式総数 40,000,000株
発行済株式の総数 14,450,000株
株主数 22,770名

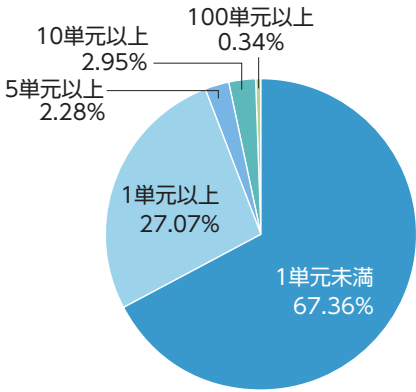
大株主 (上位10名)			
株主名		持株数 (千株)	持株比率 (%)
クニミネエンタープライズ株式会社		4,909	40.31
クニミネ工業取引先持株会		759	6.24
日本化薬株式会社		417	3.43
クミアイ化学工業株式会社		329	2.71
川上 悟		274	2.25
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)		223	1.83
日昭株式会社		198	1.63
BNYM RE BNYMLB RE GPP CLIENT MONEY AND ASSETS AC		188	1.55
株式会社三菱UFJ銀行		160	1.31
クニミネ社員持株会		112	0.93

(注) 持株比率は自己名義株式 (2,271,488株) を控除して計算しております。

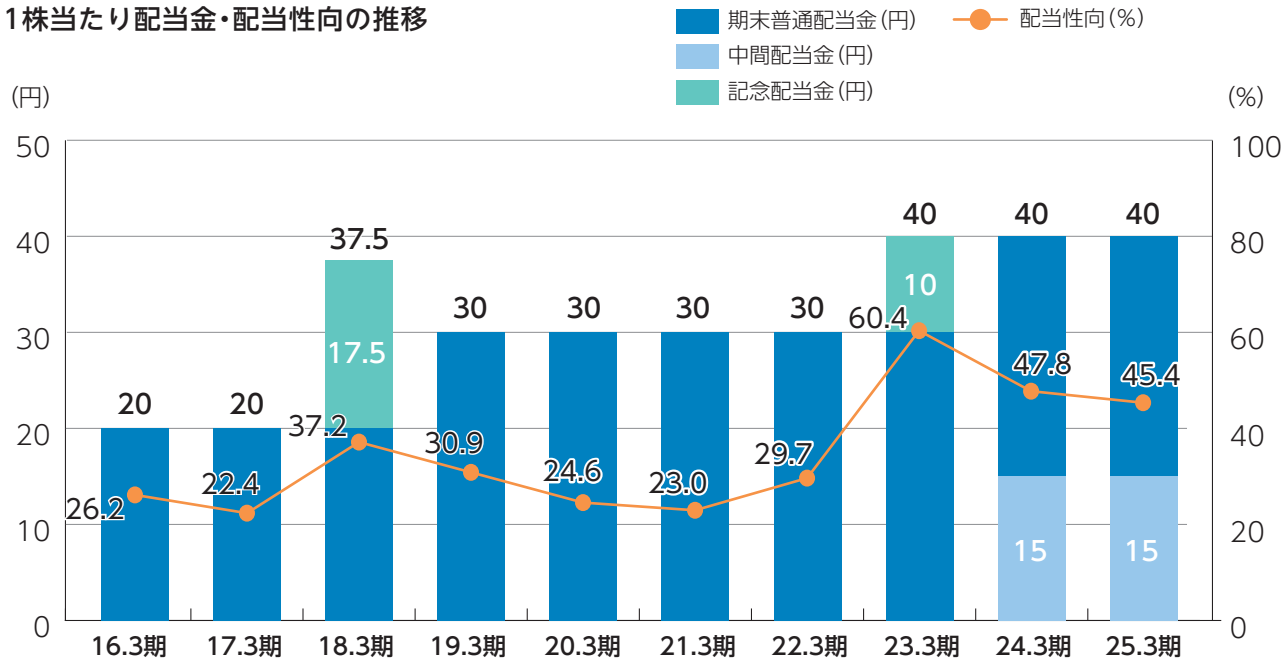
所有者別
株式数分布状況



所有数別
株主数分布状況



1株当たり配当金・配当性向の推移



会社概要／株主メモ (2025年6月26日現在)

商 号	クニミネ工業株式会社	会社の主な事業目的
代 表 者	代表取締役社長 國 峯 保 彦	● 鉱業
本 社	〒101-0032 東京都千代田区岩本町一丁目10番5号 03-3866-7251 (代表)	● 岩石および粘土類の採取、加工ならびに販売
設 立	1943年 (昭和18年) 6月1日	● 無機・有機の工業薬品、農薬、医薬品、医薬部外品、動物用医薬品の製造・加工ならびに販売
資 本 金	16億1,780万円	● 食品・食品添加物、飼料・飼料添加物の製造・加工ならびに販売
従業員数	単体：240名 (2025年3月31日現在) 連結：299名 (2025年3月31日現在)	● 水処理剤・廃汚泥水処理剤および処理装置の製造・販売ならびに施工および運営
		● 粉粒体・鑄造・土木用機器装置等に関連するプラントの設計・施工および運営ならびにその機器類および資材の製造販売

役員一覧

代表取締役社長 (全般)	國 峯 保 彦
専 務 取 締 役 (ベントナイト事業本部長)	木 村 敏 男
専 務 取 締 役 (人事部長、管理部長)	友 山 貴 之
常 務 取 締 役 (アグリ事業本部長、研究開発部長)	玉 木 悟 史
取 締 役 (経営戦略部長、海外事業推進部掌管)	高 田 裕 二
取 締 役 (クレイサイエンス事業本部長)	黒 田 克 弘
取 締 役	鷲 巢 信 太 郎 (社外)
取 締 役 (常勤監査等委員)	大 谷 洋 之
取 締 役 (監査等委員)	堀 越 孝 (社外)
取 締 役 (監査等委員)	赤 石 健 (社外)
取 締 役 (監査等委員)	原 田 崇 史 (社外)

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日 (中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.kunimine.co.jp/ (ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関 (証券会社等) で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社などにお問い合わせください。株主名簿管理人 (三菱UFJ信託銀行) ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関 (三菱UFJ信託銀行) にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にでもお取り次ぎいたします。

3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。